

特集

# 災害に強い 安全な国土づくり

## ～復旧・復興～

平成23年3月に未曾有の大被害をもたらした東日本大震災をはじめ、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、令和元年房総半島台風（15号）や東日本台風（19号）などにより大きな被害が発生し、令和2年7月豪雨では特に九州で記録的な大雨となり、令和3年7月の東海地方・関東地方南部を中心とした大雨では、静岡県熱海市で土石流が発生したほか、河川の増水や低地の浸水が発生しました。

災害からの地域の復興には、インフラストラクチャーの早期復旧と復興の活力の源となる拠点・基軸の形成が欠かすことができません。特に近年の大災害からの復興にあたっては、将来的な発展を見据えた創造的復興が注目されています。

このような大規模な災害が発生した際には、国土交通省の緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が被災状況の迅速な把握、災害応急対策に対する技術的な支援等をしてきています。また、被災した地方公共団体に他の地方公共団体が職員を派遣するなどの支援が行われてきています。

今号の特集では、「令和3年の自然災害と国土交通省の災害対応」を概説するとともに、地方整備局・地方公共団体における復旧・復興事業の取組事例、被災地を支援する緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の取組事例を紹介します。

特集担当：大坪 祐紀  
（国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課  
河川情報企画室 企画専門官）



道路管理者・鉄道事業者等で調整し、早期に運行再開したJR高山本線（本号P12～14「令和2年7月豪雨国道41号災害復旧より」）





## CONTENTS

令和3年の自然災害と国土交通省の災害対応	8
令和2年7月豪雨 国道41号災害復旧	12
縦軸をつなぐ横軸 ラダー型防災道路ネットワーク	15
平成30年7月豪雨により発生した土砂災害への対応	20
夏井川・好間川における令和元年東日本台風からの復旧	23
平成30年7月豪雨災害における住まいの再建	26
大型浚渫兼油回収船と海洋環境整備船における取り組み	29
岩手県の漁港等における東日本大震災津波からの復旧・復興状況	32
令和3年7月1日からの大雨におけるTEC-FORCE活動	35